



はじめに

FRDM-KL25Z編

1. はじめに

このたびは、eForce製品をご試用頂きありがとうございます。

本書は、フリースケールセミコンダクタ社のFRDM-KL25Zに対応しており評価版パッケージの概要、インストール手順、チュートリアルガイドの補足事項について説明いたします。

制限事項

本評価版は FRDM-KL25Z 上での試用を対象としています。収録されているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。

本評価版は製品版とは異なり、カーネルのソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

・ ID 数の制限 (RTOS)

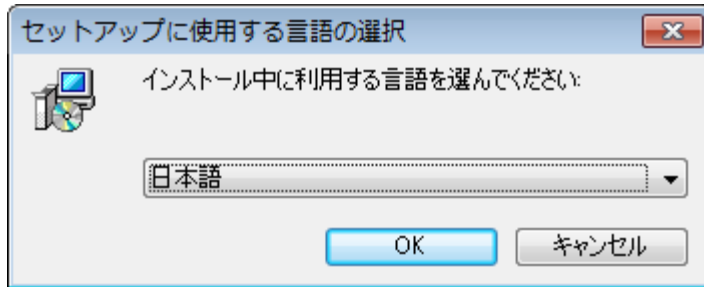
ユーザーには見えない RTOS 内部で使用する ID も含め、すべてのオブジェクト ID をユニークな 8bit の値で管理しています。その ID 総数は、次の式で計算され、製品版では 255 ですが、評価版では 16 に制限されています。

	タスク優先度上限
	共有スタックの個数
	タスクの個数
	セマフォの個数
	イベントフラグの個数
	メールボックスの個数
	データキューの個数の 2 倍
	固定長メモリプールの個数
+)	周期ハンドラの個数
<hr/>	
ID 総数	

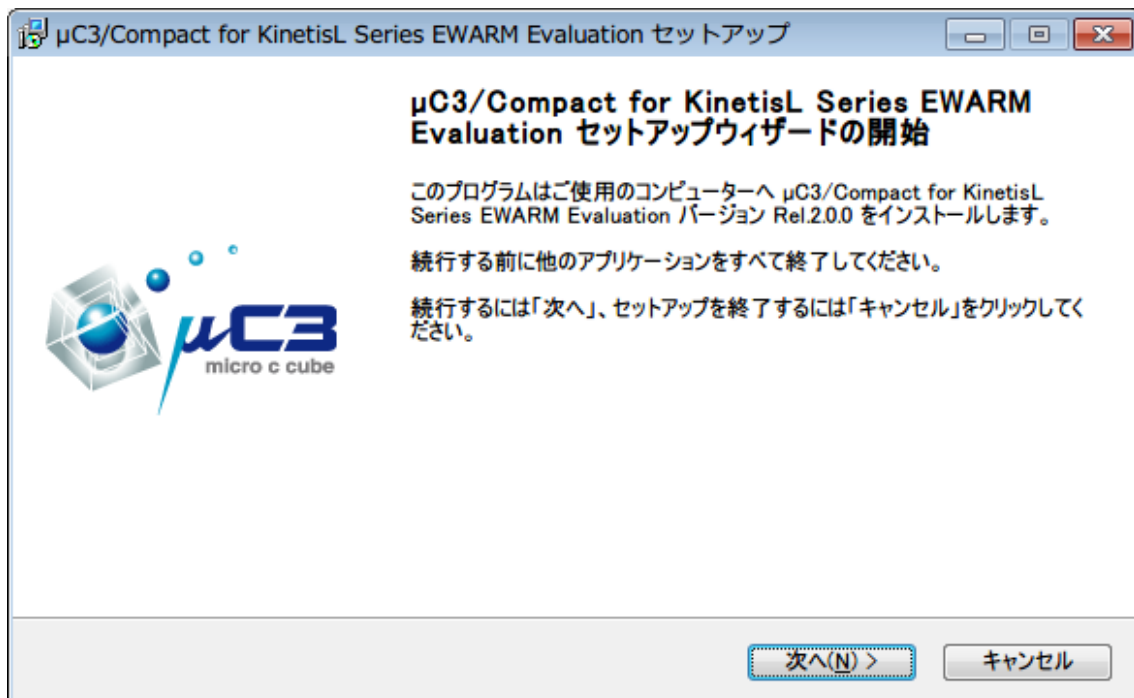
本評価版を使用するにはIARシステムズ社のコンパイラが別途必要です。コンパイラはIARシステムズ社のホームページより評価版をダウンロードできます。

2. インストール

uC3c_kinetisL_ewarm_eva.exeを実行し画面に従いプログラムをインストールします。
最初に下記メッセージが表示されるので、インストール時の言語を選択し、OKをクリックします。

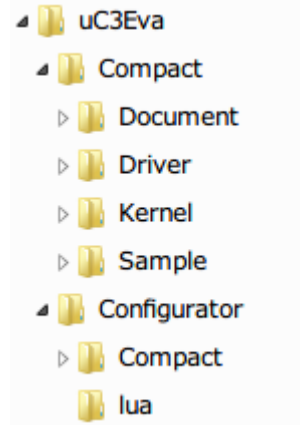


下記メッセージでOKをクリックし、その後画面のメッセージに従いインストールを実施します。




フォルダ構成

インストールが完了すると、以下のフォルダ構成となります。



コンフィグレータの起動

μ C3/Compactでは、RTOSのコンフィグレーションが簡単に行えるようにGUIのコンフィグレータが付属しています。インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選択した場合は、のアイコンを実行すると、μ C3コンフィグレータが起動されます。

または、直接「¥uC3Eva¥Configurator¥Configurator.exe」を起動してください。

サンプルプログラムの実行

μ C3/Compact では、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。サンプルプログラムの実行方法は、「¥uC3Eva¥Document」内のチュートリアルガイドを参考にして下さい。